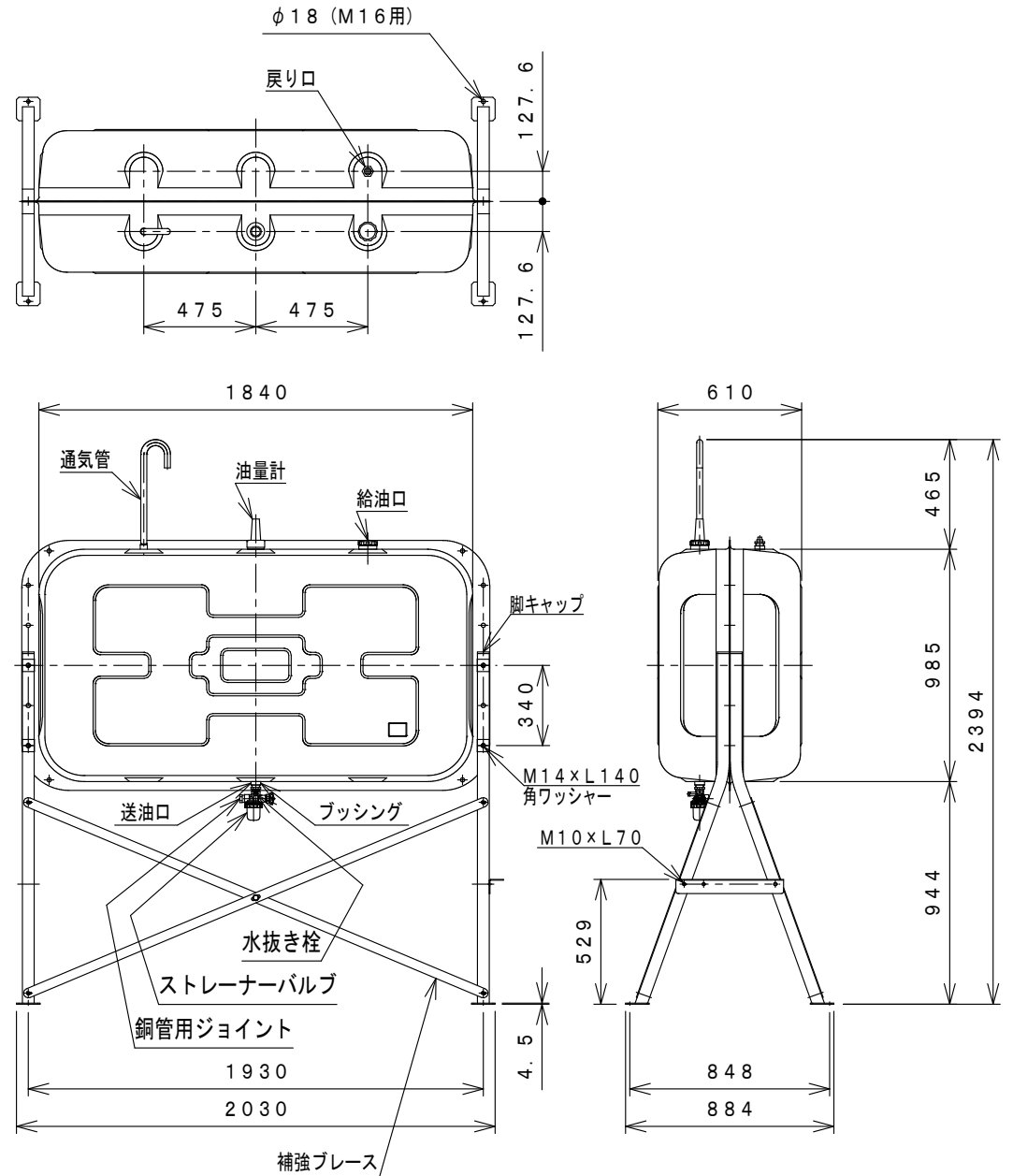


サンダイヤ オイルタンク 仕様書

型式		分類記号
KS1-990		SJ1
仕様明細書		
容量 使用燃料 種類	積量 種類	1016 リットル 914 リットル 灯油 据置式(脚部固定)・屋外用
本体材質、板厚 脚材質、板厚 補強材質、板厚		溶融亜鉛メッキ鋼板、2.3mm 溶融亜鉛メッキ鋼板、 $\square 50 \times 1.6$ mm 溶融亜鉛メッキ鋼板、3.2mm
溶塗 塗検包	接装 査装	シーム溶接、CO2アーク溶接 ポリエステル樹脂静電粉体塗装 本体密閉後、空気圧による全数検査 PEシート、発泡シート
油量計 給油口 通気口		無指向性フロート上下表示式 $\phi 65$ mm $\phi 25.4$ 、40メッシュ金網付 Rp1めねじ、プッシング ストレーナバルブ(R3/4×Rc1/2) $\phi 8$ 銅管用ジョイント付
戻り口		Rp1めねじ、プッシング、プラグ付
塗装 完成重量		本体・脚(ライトベージュ21) 約144kg
耐震設計条件		「局部震度法」により、以下の条件以内でご使用ください。 (建築設備耐震設計・施工指針2014) 設計水平震度 K0 $K_h = K_0 \cdot K_1 \cdot Z \cdot \beta \cdot I = 2.0$ 以下としてください。 K1 床に作用する水平震度、K0=通常は1.0(0.8~1.0) Z 建物の床応答倍率、(地上又は1階) K1=通常は1.0 β 地域係数、Z=通常は1.0(0.7~1.0) I 本図オイルタンクの応答倍率、 $\beta = 2.0$ 耐震設計質量 用途係数、I=通常は1.0(0.7~1.5) 基礎・ボルト W=通常は875kg(タンク+灯油質量) あと施工接着式M16埋込長さ110mm以上。 基礎コンクリート設計強度1.8kN/cm ² 以上。
耐震性		1G対応。以下の通り1G(980ガル)相当以上の試験に対応しています。 神戸海洋気象台観測波(1995.1.17)の 120%条件にて三軸加振の耐震性確認。 最大合成速度:135(カイン)(1成分で108) 最大合成加速度:1450(ガル)(1成分で1300)

注) タンクの設置については、据付説明書をご覧のうえ正しく設置してください。

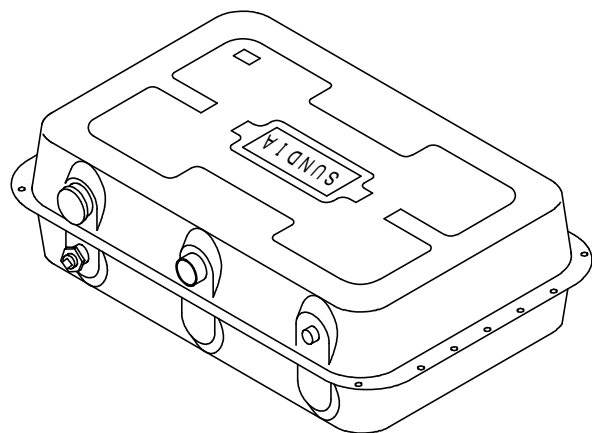


オイルタンク部品一覧図

型式	分類記号
KS1-990	SJ1

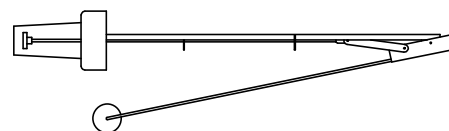
別梱包品

タンク本体 1個 (キャップ、プッシング、プラグ付)



部品箱梱包品

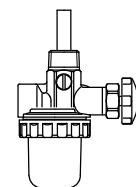
油量計 1個



通気管 1個



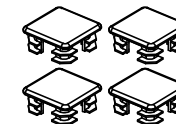
ストレーナバルブ 1個



ジョイント 1個

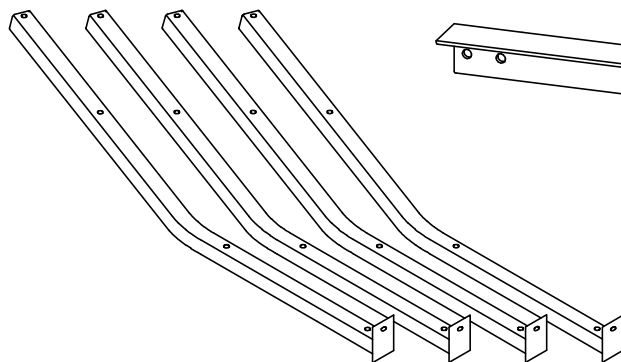


脚キャップ 4個

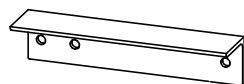


別梱包品

脚 4本



ステップ 1個



補強ブレース 4枚 (全長2153mm)



プッシング 1個



シールテープ 1個



補修塗料 1個



ボルト・ナットセット



M14×140 4セット

M14×140 1セット (取手用)

M10×70 10セット



M10×20 2セット



角座金 8枚